発行日：
２０１１年８月１０日

明治学院大学心理学部　白金心理学会報

さいころ

第3号

2010—2011

白金心理学会イベント

- 2010年6月29日
  白金心理学会 在学生部会SC　第4回キャリア支援シリーズ「リラクセーションを体験しよう！」開催
- 2010年11月6日
  心理学科開設20周年記念事業＆白金心理学会第3回総会、講演会「心理学とキャリア形成ー豊かなキャリア形成に向けて」、卒業生･在校生クロストーク開催
- 2010年12月14日、15日、17日
  白金心理学会在学生部会SC第5回キャリア支援シリーズ「院進学ってどういうもの？」開催

会報第3号発行に寄せて

井上孝代学会長（心理学部長）

今年三月の未曾有の震災で被災された在校生・卒業生のご家族・関係者の皆様へ白金心理学会を代表して、こころよりお見舞い申し上げます。

本会報も第三号を迎えました。「三」は中国語の発音が「生」に似ているということで、縁起の良い数字とされます。事実、この三年の間白金心理学会は、発足記念総会（一年目）、心理学科20周年記念行事および教育発達学科開設記念行事（二年目）、そして本年からは総会に学術集会が新たに加わり、在学生部会もキャリア支援プログラムなどより一層精力的な取り組みをおこなってきました。

また、「三」の数字つながりでは、故障や障害の許されない重要なシステムほど質や冗長性を高めるために正・副・予備の三重構成が取られることが多いとされます。その意味から言えば、白金心理学会が充実した取り組みをしてきた背景に、正（在学生）、副（卒業生）、予備（教職員）の三重構成があったことを実感しています。

井上孝代先生

災害後のさまざまな試練に立ち向わざるを得ない今後にあって、心理学を学んだ者として私たちに何ができるのか？白金心理学会の三重構成のシステムが力をあわせていくことで、身近なところから様々な取り組みが生まれてくる、そんな予感がしています。

第4回白金心理学会大会のお知らせ

野末武義先生(心理学科准教授)

みなさん、こんにちは。白金心理学会も今年で第４回の総会を迎えることとなりました。これまで、白金心理学会は、年１回の総会の際にさまざまなシンポジウムや講演会などを開催し、心理学部の卒業生・修了生および在校生が、自らの学びやキャリア、そして人生について考える機会を提供し、同時に教職員との絆を深める同窓会組織として大きな役割を果たしてきました。今年度の第４回からは、これまでの歩みを基盤としつつ、名称も「大会」と変え、学会組織としての充実も図っていきたいと考えています。

１０月８日（土曜）開催の第４回総会のプログラムについては、現在運営委員会を中心に検討中ですが、ラウンドテーブル：「東日本大震災支援～心理学は何ができるか」を開催予定です。今回の震災の中で起こっていることを様々な心理学の観点から分析することにとどまらず、そこから私たちの日常的な生活や人間関係、そして人生をもう一度見つめ直すことができればと考えています。具体的には、臨床領域、基礎領域、教育発達領域の教員に話題提供をお願いし、フロアの皆さんとディスカッションをしたいと考えています。

また、いずれはワークショップを開催したり、パネルディスカッションや研究発表を行うなども考えられるかもしれません。とはいえ、心理学の専門家のみを対象とした学術団体ということではなく、学生のみならず、社会に出て直接心理学とは関係のない仕事をしている方や主婦の方にとっても、気軽に参加できるものを実施していきたいと考えています。こんなテーマのシンポジウムを開催して欲しい、この先生の話を聴いてみたいなど、ご希望がありましたら遠慮無く学会事務局までご連絡下さい。

皆さんの参加をお待ちしています。

目次:

会報第3号に寄せて　1
第4回白金心理学会総会のお知らせ　1
在学生部会活動報告　2
横浜校舎探訪記　2
インタビュー 先生 お久しぶりです!! ～佐野直哉先生の巻　3
第3回総会の報告　4
事務局よりお知らせ　4

在学生部会活動報告

田辺 真（在学生部会ＳＣ）

第4回キャリア支援シリーズ「リラクセーションを体験しよう！」
体を動かすことで心もほぐれていきます。就職活動中の疲れもすっきり!

第5回キャリア支援シリーズ「院進学ってどういうもの？」
進学先の選び方や勉強の仕方など、具体的なアドバイスに参加者は真剣に耳を傾けました。

こんにちは、白金心理学会在学部生SCです。2010～2011年夏までの活動を報告します。

はじめに、心理学部のゼミ紹介のホームページについての報告です。このホームページでは主にゼミ選択に悩んでいる2年生をターゲットに、ゼミ内の様子を各ゼミ長に学生からの目線で執筆してもらいました。各ゼミの個性が溢れたとても理解しやすい内容のものとなっています。今後はさらにゼミのデータを蓄積し、卒業生の方々にも楽しんでいただけるようなサイト作りをしていきたいと思います。白金心理学会のホームページに「ゼミ紹介」というページがありますので、ぜひご覧ください。

次に、在学生部会が主催した行事についてです。6月には大学生活等で精神的、肉体的に疲労を感じている学生に向け、本学心理学科教授の金沢吉展先生にリラクセーション体験講座を行っていただきました。参加した学生に「とてもリラックスできた」という声をもらいました。また、講座終了後は皆が晴れやかな顔をしていたのが印象的でした。

12月にはキャリア支援イベント「院進学ってどういうもの？」を開催いたしました。これは大学院を卒業されて心理職や研究職に就かれている方に本校に来ていただき、院進学を目指す上でどのように勉強したのか、大学での生活はどのようだったか等、体験談を話していただいたものです。進路に悩む2、3年生の参考になればと企画しました。昨年度に引き続き開催したこのイベントですが、大変参考になったという声を多数いただき大盛況のうちに終了することができました。この場をお借りして、同イベントにご登壇してくださいました、椙田麻菜美様(筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻行動神経科学分野博士後期課程)、印牧初姫様(明治学院大学大学院心理学研究科心理学専攻博士前期課程臨床心理学コース修了生)、米澤翠様(明治学院大学大学院心理学研究科心理学専攻臨床心理学コース博士前期課程)、鈴木那奈様(川崎市総合教育センター特別支援教育センター心理臨床相談員)、片山春菜様(明治学院大学大学院心理学研究科心理学専攻教育・発達コース博士前期課程)にはお礼申し上げます。有益な時間をご提供いただきありがとうございました(所属は2010年12月時点）。

最後に、白金心理学会在学部会とSC(スチューデントカウンセラー)が昨年度から合併し人数も増えたことにより、活動の幅が広がりました。従来のイベント以外にもさまざまなことを企画してまいります。今後も精進して参りますのでいままで通り温かい目で見守っていただけると幸いです。

横浜校舎　探訪記

緑の芝生が鮮やかなグラウンド（横浜校舎ヘボンフィールド）

心理学科が開設されて20年余り、私たちが夢を語り合った学び舎も時代とともにその姿をかえてきました。ここでは横浜校舎の今の姿を昔の記憶とともにたどってみましょう。

JR戸塚駅からバスでキャンパスへ。20年前は工場と空き地の目立った戸塚駅からの道は、住宅街へと姿を変えました。新たな道路もでき、当時の面影は全くありません。バスはグラウンド下ではなく、遠望橋をくぐり8号館(国際学部棟)脇に到着しました。

横浜キャンパスでまず変わったと感じたのは、緑が増えた点です。日陰の少なかったキャンパスは20年の時を経て大きく育った木々が、あちこちに涼しげな木陰を作っていました。

さて校舎の中へ。教育発達学科開設に伴い、「教科実習室」が新設されました。まるで小学校の家庭科室、理科室、音楽室、図工室をそのまま持ってきたようです。ピアノの練習を学生が自由にできる練習室もあります。体育実技の授業では鉄棒の逆上がりも。グラウンドは土から人工芝となり、泥だらけになることもなくなりました。音楽室では琴の体験授業で全員が「さくらさくら」に挑戦！初めて触れる琴に学生たちは興味津々。

授業には黒板ではなくパソコンとプロジェクターを使うようになった点や、キャンパス内のあちこちにパソコン室があり学生が自由に使えるようになっていることに時代を感じます。学生食堂、部室棟付近は洒落たウッドデッキ調に様変わりしていました。

帰りがけ、遠望橋から戸塚駅方面を眺めました。土手と畑ばかりだった風景は道路と住宅に変わりましたが、遠くに連なる丹沢山地は変わらずそこにありました。冬になれば冷たく澄んだ空気の向こうに雪をいただいた富士山がそびえているのでしょう。　（事務局　小能）

インタビュー　先生お久しぶりです！！　～佐野直哉先生の巻

大仙　愛菜（在学生部会SC）

去年ご退職された佐野直哉先生と元ゼミ生の皆さんに、明治学院大学での思い出を語っていただきました！

―先生の印象はどうでしたか？

小松さん「最初はゼミの紹介のときでしたね。」

佐野先生「そのとき僕は、精神分析も勉強したい人ではなく、精神分析が勉強したい人に来て欲しいって言ったのを覚えているね。」

徳田さん「私が印象に残っているのは、事例がいっぱいあるので体験に近い感じのことができるんじゃないかと思ったことです。理論とか難しいことより、臨床家っぽい感じの授業なんじゃないかなと。」

いつもおしゃれな佐野先生

小松さん「僕は、喫煙所でたまたま先生と一緒になったときに初めてお話ししたのですが、そのときに映画を分析すると聞いて、『おもしろそう。』と思いましたね。」

佐野先生「そもそも 第一印象はどうなの？」

小松さん「指輪とかメガネとか、おしゃれで知的なおじさん、っていう印象ですね（笑）」

佐野先生「おじさんかー・・・（笑）」

渡辺さん「やわらかいイメージはありました。」

佐野先生「やっぱり研究者っていう自己イメージがなくて、臨床家で人と接することが仕事っていうアイデンティティがあったからね。」

徳田さん「第1印象とはずれるかもしれないですけど、先生が授業の中で個別にランダムに話しを振るから、対話がある授業だったよね。聞く授業じゃなくて、自分から入っていく授業だから、知的好奇心をくすぐられましたし、『考えなきゃいけないんだ』と思いました。」

小松さん「それが面白いんですけど、結構大変なんですよ。プレッシャーにもなりましたね。」

徳田さん「私の中では、先生は何でも受け入れてくれるイメージがあったから早く話したかったですね。」

佐野先生「ある種の自由連想だからね。課題を与えて、それについて考えるという。」

小松さん「最初は理論などもやるんですけど、実際のケースの話をしてくれますよね。」

佐野先生「『ケースから理論を学ぶ』というのが僕の基本的な姿勢だからね。」

渡辺さん「だからなんかこう、『触れている』感じがしました。より近くに感じられるというか、分かりやすかったし、心理の仕事って考えたときにイメージしやすかったです。」

―ゼミでの思い出は何ですか？

佐野先生「5月に1泊2日で毎年精神病院を見学していたね。森田病院だっけな。僕は、あえて古い病院へ行って、患者さんがこういう待遇を受けているんだっていうのを知ってもらいたかった。」

徳田さん「すごく広い畳の部屋とか、保護室を見せてもらって衝撃でしたね。」

佐野先生「僕自身の臨床体験の出発点が精神病院にあったし、将来臨床心理士になっていろんな患者さんに会ったときに役立つように、積極的に病院見学は行っていたね。まぁ、一泊だから夜はどんちゃん騒ぎだよね。」

小松さん「そのどんちゃん騒ぎのときに、他の臨床の先生方を連れて来て下さるから、いろんなお話ができましたね。」

佐野先生「夏のゼミ合宿ではゲストを呼んでいたね。映画評論家だったり、哲学者だったり、違う視点から人間というのを捉えている人達だね。あとは露天風呂めぐりをしたね。」

徳田さん「すっごい山奥にいきましたよね。」

佐野先生「あとカレー屋さんと蕎麦屋さんにも行ったりしたね。よく遊んだね。」

小松さん「いや、でも勉強もしましたよ！がっつりと！」

―佐野先生が生徒に考えさせる形の授業にしていこうと思った理由は何ですか？

佐野先生「みんな精神分析に関して何も知らないんだけど、だからといって易しいことを優しく教えていたって成長しないじゃない。まず自分が考えて、苦しむことが必要。」

終始和やかな楽しい雰囲気でお話をされるみなさんを見て、とてもうらやましく思いました。

佐野先生、小松さん、徳田さん、渡辺さん、お忙しい中、貴重なお話をどうもありがとうございました。

インタビューにご協力くださった方々

佐野先生　(右下)
【佐野ゼミ第1期生】
小松賢亮さん　(右上)
：国立国際医療センター病院
徳田安奈さん　(中央)
：川原クリニック
渡辺有香子さん　(左上)
：手賀沼病院

【インタビュアー】
大仙愛菜さん　(左下)
：在学生部会ＳＣ 3年

白金校舎ヴォーリズ広場にて　懐かしい思い出話に花が咲きます。

明治学院は２０１３年に１５０周年を迎えます
http://mg150.jp/

第3回総会の報告

金子　健先生（第3回白金心理学会総会実行委員長）

2010年11月6日、白金心理学会第3回総会が開催されました。今回は心理学科開設20周年記念事業と併せての開催で、事業報告、予算案の承認などの会務総会に続いて、大西晴樹学長にご祝辞をいただき、井上学部長の挨拶、実行委員長（金子）による「心理学科20年のあゆみ」などのイベントが行われました。

角山　剛・東京国際大学教授による「心理学とキャリア形成　－豊かなキャリア形成に向けて」と題した記念講演では、大学におけるキャリア教育、女性のキャリア形成、社会の価値観の変化などについて、先生の研究データなどを踏まえてお話しいただき、就職活動中の学部学生、社会人として奮闘中の卒業生など、多くの参加者にとって刺激的で意義深い時間となりました。

第2部では、心理学部教員による小講演として、田中知恵先生の「感情と集団・組織行動」、野末武義先生の「仕事と家族と自己実現」のお話しがありました。それぞれご自身のキャリアと研究を交えての楽しくてためになる、普段の授業とは一味違った講演で、時間が限られていたのを惜しむ声が多く寄せられました。

第3部は、河原一紘さん（98PS）、榊原佐和子さん(10PSD)、近藤ひかるさん(07PS)によるクロストーク。学生の皆さんにとっては身近な体験談やキャリア形成の話が心に響いたようでした。

懇親会は100名近い参加者を得て遅くまで大いに盛り上がり、楽しい時間を共有することができました。白金心理学会第3回総会を準備してくださった卒業生や在学生部会(ＳＣ)の皆さんと教職員の方々、ご登壇くださった先生方、そしてすべての参加者の皆さんに感謝いたします。

白金心理学会第3回総会
心理学部開設20周年記念事業と合わせての開催でした。200名近い参加者が熱心に耳を傾けていました。

事務局よりお知らせ

○お悔やみ申し上げます

去る2011年1月、岩男卓実先生が、同年3月、下司昌一先生がご逝去なさいました。教え導いて頂きましたことに感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

○2011年白金心理学会第4回大会が開催されます

来る2011年10月8日(土)13：00から白金校舎2301教室において「第4回白金心理学会大会」を開催いたします。今年は修了生による講演、東日本大震災をテーマにしたラウンドテーブル、文部科学省教育GP記念シンポジウムを予定しております。当日は懇親会もございますので、皆様のお誘いあわせの上ご参加下さい。（HP・携帯サイトからの事前申し込みにご協力ください。なお、懇親会のみ有料です。）

○卒業生のみなさまへ　白金心理学会にご入会下さい！

すでに心理学部および心理学専攻科の皆様には入学・進学時にリーフレットを配布しご案内しておりますが、在学期間中は白金心理学会費として一人年間2000円をお預かりしております。卒業生の皆様におかれましても、この機会に是非ご入会下さいますようお願いいたします。

お預かりした会費は、次のような活動の費用に充てられます。

・心理学部(前身諸学科含む)卒業・修了生、教員、在学・在院生、との交流会の企画および運営
・在学・在院生、卒業・修了生のキャリア支援のためのイベント企画及び運営
・心理学部(前身諸学科含む)、心理学専攻科名簿管理
・年次大会・総会開催、会報発行、講演会企画及び運営
・白金心理学会にかかる広報活動

ご不明な点がございましたら、白金心理学会事務局までご連絡ください。
皆様のご入会をお待ちしております。

○卒業後の住所変更登録にご協力下さい！

卒業時から住所が変わっている方、また、ご実家の住所が変わっている方は、白金心理学会事務局にご一報ください。住所変更登録は白金心理学会Web(http://sirosin.org/)の「卒業生へのお願い（連絡先変更登録）」ページで登録できます。ご協力をよろしくお願いいたします。

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108－8636
東京都港区白金台1－2－37
明治学院大学
心理学部共同研究室内

TEL＆FAX:
03(5421)5814
問い合わせ用E-mail：
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp

第4回白金心理学会大会
参加申し込みは下記URLまで
URL：http://sirosin.org/
（下欄QRコードもご利用になれます。FAXをご希望の方は上記番号をご利用ください）。